

## 令和 6年 3月「月報」

### 1 はじめに

先月の月報で「入隊予定者の決意を称揚し、激励してくださるよう。」とお願ひしましたところ、早速、広島県西部地区の激励会の様子が寄せられました。入隊予定者のうち激励会に出席した本人・家族は一部でしたが、多くの方々からの祝福と激励や助言を受け、決意を新たにしたことと思います。

防衛省は人的基盤強化のために様々な施策を検討しております。例を挙げますと、高度な知識・技能・経験を有する人材を対象とする「任期付自衛官制度の創設」、安定した人材の確保が見込まれる「非任期制士（一般曹候補生）の採用枠の拡大」、任期満了退職者で国内の大学に進学した人のうち、在学中に予備自衛官・即応予備自衛官に任官した人への給付金支給（進学支援給付金制度）等、更には生活勤務環境の改善、各種手当の充実・創設、任期満了時の退職金増額等々……。人材の確保の他にも防衛省ホームページを見ていただくと、家族会の活動にも役立つ記事が多く掲載されています。

激励会出席時はもちろん、部隊訪問・研修の前に少し見ていただくと、同席の自衛官との話も弾むことと思います。※人材育成関連は防衛省ホームページ「防衛政策＞審議会・検討会等」から入りました。ご参考まで。

### 2 防衛省・自衛隊の活動（各幕HP等より）

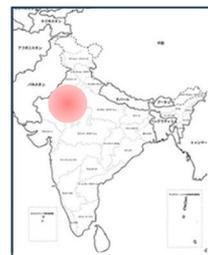
- (1) 2月2日（金）0800、能登半島地震の災害派遣について、自衛隊は、統合任務部隊から地域に密着した陸自中部方面隊を中心とする約1万人の災害派遣態勢に移行。

引き続き、被災者に寄り添

ったきめ細やかな生活支援活動等を実施中です。



- (2) 陸上自衛隊は、2月25日（日）～3月9日の間、「自由で開かれたインド太平洋」の維持・強化に一層寄与すべく、対テロ戦に係る作戦遂行能力・戦術技量の向上を図るとともに、陸自と印陸軍との相互理解・信頼関係の促進を図ることを目的として、インドにおいてインド陸軍との実動訓練（ダルマ・ガーディアン23）を実施しています。陸自の担任官は富樫東部方面総監。実施部隊は第34普通科連隊（大宮）の約40名、インド陸軍からは第19歩兵大隊の約40名が参加しています。



演習が実施される  
ラージャスタン州

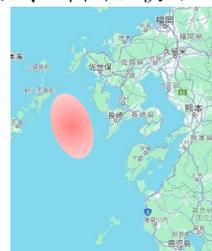
- (3) 海上自衛隊は、日米同盟の抑止力・対処力を強化すべく、3月1日（金）～3月6日（水）の間、角力灘（九州西方）において掃海特別訓練（日米共同訓練：機雷敷設、機雷掃海、機雷掃討）を実施します。海自の訓練統制官は野間第1掃海隊司令で、掃海艦「ひらど」掃海艇「たかしま」が参加し、米海軍は第7対機雷戦隊司令が訓練統制官となり、掃海艦×2隻が参加します。※角力灘での掃海特別訓練は、今回が初めて。



MSO-305「ひらど」



MSC-603「たかしま」



- (4) 航空自衛隊は、1月30日、日本海及び東シナ海上の空域において、空自F-2及びF-15戦闘機と米空軍B-52爆撃機が各種戦術訓練を実施し、強固な日米同盟の下、相互に即応態勢を確認しました。



### 3 家族会の活動

#### (1) 災害派遣部隊を激励

広島県家族会は、1月4日に陸自海田市駐屯地を訪れ、能登半島地震災害派遣の隊員を激励しました。



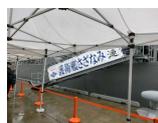
また、兵庫県家族会は

1月31日、千僧（せんぞう）駐屯地を訪れ、災害派遣部隊を激励し、第3師団長、副師団長兼ねて千僧駐屯地司令と家族支援協力活動について意見交換しました。



#### (2) 第47次派遣海賊対処行動水上部隊を激励

1月31日、広島県家族会は第47次派遣海賊対処行動水上部隊を激励し、翌日の出航を見送りました。



#### (3) 協定の締結

1月22日、岐阜県家族会が陸自守山駐屯地と「隊員家族の支援に対する協力に関する協定書」を締結しました。



### (3) 部隊研修と募集協力

1月22日、栃木県市貝（いちかい）町自衛隊家族会は、栃木地方協力本部真岡募集案内所の支援を得て、第12後方支援隊等が駐屯する陸自新町駐屯地（群馬県）の部隊研修を行いました。駐屯地では、広報担当者から新町駐屯地の編成及び部隊活動説明のほか、能登半島地震の被災地救援活動について自衛隊の活動状況を写真画像を用いて、また、災害時の自衛隊保有装備品の支援能力についても説明を受け、見識を高めました。



今回の研修には、即応予備自衛官とそのご両親の参加があり、研修終了後に相応予備自衛官本人から自衛隊再入隊の志願申し出がありました。家族会の部隊研修が募集協力につながり、これもまた、成果のある研修でした。



### (5) 入校・入隊予定者激励会

2月18日、広島県西部地区（大竹市、廿日市市、広島市佐伯区）で、4月入隊予定者の地区激励会が行われました。式典では松本廿日市市長の祝辞の他、県議会議員の祝辞、家族会顧問佐藤正久参議院議員、佐伯区長や陸・海・空各幕僚長、中部方面総監の祝電が寄せられ、垣内広島地方協力本部長から激励の言葉がかけられました。参加者のご家族への家族会の説明では、吉田広島県家族会長が家族会の活動を説明し、入会を促しました。



### (6) 令和6年北方領土返還要求全国大会

2月7日、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。

当日は、岸田総理大臣、上川外務大臣の挨拶後、「署名活動の現場から」で本会の手塚運営委員が演壇より、皆様のご苦勞に支えられる署名活動の現況を伝えるとともに、今後も共に頑張るとの



力強い発言がありました。当日会場に足を運ばれた皆様、配信された動画を観覧された皆様、共に有難うございました。

## 4 事務局からの連絡・お願い

2月末にはお忙しいところ令和6年度事業計画及び令和6年度収支予算書を提出いただき有難うございました。事務局では、それらを取りまとめ、3月12日の理事会での審議を経て、内閣府に報告いたします。

以上